

入札監理小委員会における審議結果報告

造幣局基幹サーバ等運用管理作業

造幣局基幹サーバ等運用管理作業については、公共サービス改革基本方針（別表）において、平成25年4月から28年3月までの3年間を契約期間として、民間競争入札を実施することとされている。

当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を下記のとおり報告する。

1. サービスの質について

【論点】

- (1) 請負者にサービスの質を達成させるにあたって、基準が明確になるように指標値を示し、SLAを締結すべきではないか。
- (2) ヘルプデスク満足度調査の基準スコア85点は高すぎないか。

【対応】

- (1) SLAは締結せず、サービスの質に新たな指標を追加した。
 - イ ヘルプデスク
 - (イ) ヘルプデスク当日回答率
 - ロ セキュリティ
 - (イ) 脆弱性情報の把握
 - (ロ) ウイルス定義ファイルの更新
 - ハ システム運用
 - (イ) 定期バックアップ率
- (2) 基準スコアを75点とした。

2. 入札参加資格について

【論点】

- (1) 入札参加資格について、発注官庁側の裁量が広いと思われる項目があるので、削除・修正を検討すべきではないか。
- (2) 請負者に求める運用管理実績について、同規模（クライアントPC 600台等）としているが、規模に関する明確な根拠がなければ規模に関する記述を削除すべきではないか。

【対応】

- (1) 発注官庁側の裁量が広いと思われる下記項目について削除した。
 - イ 「契約に違反し、契約の相手方として不相当であると認められる者」
 - ロ 「経営状況又は信用度が極度に悪化していないと認められる者であること」
- (2) 請負者に求める運用管理実績について、規模に関して明確な根拠がないため、下記記述を削除した。
 - イ サーバ機器 10台、クライアント PC600台、利用者 900名

3. パブリックコメントについて

【論点】

- (1) セキュリティ重大障害の項目において、以下に指摘されている除外条件は実施要項に明記すべきではないか。

「本作業に起因しない職員及び別業者による情報流出については件数に含まないと考えてよいか。」

【対応】

- (1) 実施要項のセキュリティ重大障害の項目に上記除外条件を明記した。